

「お客様に喜んでもらいたいという想いで」 親子2代、街一番の洋菓子店に！ まごころこめた幸せの菓子づくり

セリーヌ洋菓子店



セリーヌ洋菓子店（横浜市青葉区田奈町、大森正巳店主、045・983・8875、<http://www.celine1977.com>）は、東急田園都市線田奈駅前の信号を渡ってすぐ位置する洋菓子店である。昭和52年に洋菓子店を開業した父に憧れて調理師学校に進み、卒業後は都内の有名パティスリーで腕を磨いてきた大森店主が、お客様に笑顔になってもらいたいという想いでお菓子をつくっている。

甘い香りが漂う店内には、季節を感じさせる四季折々のケーキやタルト、豊富な焼き菓子が並んで



大森正巳店主と和美夫人



こくがあるのに、すっきりとした極上の味わい。
横浜市開港祭グランプリに輝いた自信作「田奈プリン」

いることに感謝の気持ちを忘れず、これからも地域の皆様にあされる街一番の洋菓子店でありたい」と大森店主は語る。

いる。その中でも看板メニューは「田奈プリン」。横浜市が主催する東北復興支援イベント「横浜市開港祭スイーツパラダイス」のコンテストでグランプリを受賞した。東北各地から厳選して取り寄せた新鮮な赤玉卵と岩手県葛巻町の低温殺菌牛乳を使用したプリンは、口に入れた瞬間の濃厚な味わいと滑らかな口溶け感が人気の逸品である。さらに、さつまいもと白あんをふんだんに使ったやさしい甘さが特長のスイートポテト、バター風味豊かなシュー生地にはバニラビーンズの香る舌触り滑らかなクリームをたっぷり挟んだシュー・アラ・クレームなどにも多くのリピーターがついている。

人気商品を育ててきた現在でも修業時代に知り合った和美夫人とともに意見を出し合い、お客様に喜んでいただける新たな味の創作に日々余念がない。

「先代からの馴染み客がお孫さんとともにご来店くださったり、小さなお子さんがかわいらしいお礼のお手紙を持ってきてくれたりとたくさんのお客様に支えられて